

10,000 人の防災訓練

(災害救助用アルファ化米の試食—インスタントご飯調理体験をしてみよう！)

【参加者(施設・事業所・企業・地域の活動団体・個人)募集】

賞味期限間近(賞味期限が12月末まで)な災害備蓄品(10,000食)を活用し、日頃体験できない災害備蓄品の「調理体験」や「試食体験」をしてみませんか。

今回の企画は、災害時対策の一環としてコロナ渦でもできる取り組みとして、ほんの少し「今できること」を考え行動してみる新たなチャレンジ内容です。多くの人が一堂に会さず「違う場所・違う時間」で、「様々な活動団体の方、それぞれの事業所(施設)・企業単位」で、災害備蓄品の「調理・試食」を行ってみる。

是非、多くの皆さんにご参加いただくとともに、多くの方が繋がれるよう参加者募集にもお力添えをお願いいたします。目標参加者は、延べ10,000人を目指しましょう。

記

目的: コロナ渦でも一堂に会さず、多くの人が参加しできる防災訓練にチャレンジしよう。

内容: 災害救助用アルファ化米(五目ご飯)の調理・試食

※ 1箱50人分×2セットを提供。ただし、個人単位の場合は50人×1セット提供あり。(箱数については、ご相談をお受けいたします。)

※ 各参加者が個別に日程や参加者等を決め、調理・試食の体験を行う。(複数回実施可)

※ 注意→販売目的・転売目的での参加はできません。

参加者: 参加目標人数は10,000人(延べ人数)

・事業所(施設)、企業などの団体で参加。

・様々な活動団体の皆様での参加、などなど。

※ 何回でも参加できます。(一度に複数回分の申し込み可)

実施(募集)期間: 2020年10月26日(月)～12月25日(金)(約2か月間で実施)

参加方法: ① 参加の申し込み(別紙用紙)に、災害救助用アルファ化米の必要箱数を申し込む。

② 災害救助用アルファ化米が届きましたら、実施期間中に各自(各事業所等)で調理・試食を実施してみる。

③ 実施終了後、「実施日」「参加者数」「感想」等の報告を上げて下さい。

※ 「参加申込書」「報告書」は別紙添付。

主催: 横須賀市障害関係施設協議会

申し込み先(問い合わせ先): 社会福祉法人みなと舎 担当 森下浩明

電話: 046-855-3911 FAX: 046-855-3912

Meil: mori@minato-yuu.or.jp

送信紙等不要：このまま FAX(046-855-3912)かメール (mori@minato-yuu.or.jp) で送信してください。

社会福祉法人みなと舎 担当：森下浩明 宛

10,000 人の防災訓練

(災害救助用アルファ化米の試食—インスタントご飯調理体験をしてみよう！)

【参加申込書】

参加者 (団体名・個人名)				担当者：
住所				
連絡先 (電話)	()	FAX	()	
希望箱数	100食分×	箱	50食分×	箱
受け取り方法 ※ 何れかに○印を お願いいたします。	・来訪 (受け取り予定日： 月 日 or 事前に連絡します) ・宅急便 (着払いで送ってください) ・届けていただくことを希望します。(※) ・その他 () ※ 横須賀市・三浦市・葉山町・逗子市は、直接お届けのご相談をお受けします。			

☆ 実施後、下記の【報告書】の提出にご協力をお願いいたします。

【報告書】

実施日	月 日 曜日	(回)
参加者数 (延べ数)	人	参加者(複数選択可) <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 利用者 <input type="checkbox"/> 地域の方々 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> 友人 <input type="checkbox"/> お客様 <input type="checkbox"/> 業者の方 <input type="checkbox"/> その他 ()
実施場面 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 事業所 (施設) 内での試食 <input type="checkbox"/> 食事場面 <input type="checkbox"/> 各種イベントで使用 <input type="checkbox"/> その他 ()	
感想や意見等 (自由記載)		

※ 2回以上実施の場合、実施日の横に実施回数をお書きください。実施日は初回のみ記載でよい。